



センダイガールズプロレスリング

仙台を拠点に活動する女子プロレス団体。2005年7月に団体設立、2006年7月に仙台サンプラザホールで旗揚げ戦を開催した。女子プロレスでは珍しく、地域密着型で活動する団体。昨年3人の選手が入団し、現在の所属選手数は8名。



新春座談会

# プロスポーツで輝く女性たち

センダイガールズプロレスリング×マイナビベガルタ仙台レディース×郡市長

仙台で活躍する女子プロスポーツ選手4人をゲストにお迎えし、女子プロスポーツの魅力や仙台で活動する思いについて、郡市長と語り合っていました。

会場：仙台ロイヤルパークホテル

いると、お客さんが声を掛けて応援してくれたり、会いに来てくれる方もいたりするんです。それがとても励みになっています。仕事をしていた良かったと感じる瞬間ですね。**市長** 身近で応援してくれるのを実感できますし、次の試合でまた頑張ろうという思いにもつながりますよね。

**里村** センダイガールズプロレスリング（以下「仙女」）の選手は、五橋駅近くにある道場で練習をしています。私は代表を務めていますので、基本的には道場に行かず、日中は営業活動を行っていて、空いた時間に練習をします。



里村明衣子さん  
センダイガールズプロレスリング代表兼選手。2005年の団体立ち上げから参加。1979年、新潟市生まれ

**市長** 時間が限られた中での練習でも強いのは、何か秘けつがあるのですか。

**里村** どんなに夜遅く帰ったとしても、練習時間は必ず確保します。自分はプロレスラーとして仕事をしていますので、練習だけは怠りません。

**DASH** 私も、新人選手の指導などで一日が過ぎます。自分の練習はそれが終わってからのので、夜になりますね。

**市長** 皆さん、プロスポーツ選手としての活動だけでなく、経営者としての活動をしたり、別な仕事をしたりなど、多忙な日々を過ごされていますね。

## 伝えたい、女子プロスポーツの魅力

**北原** プロレスって見たことなくて、少し怖いイメージがあるんです。試合をするのに、不安や怖さはないですか。**里村** 痛みにはいまだに慣れないです。技を受ければあざ



DASH・チサコさん  
センダイガールズプロレスリング所属選手。2005年に第一期生として入団。1988年、仙台市生まれ

もできるし、けがも多いし。でも、日頃の練習で恐怖を拭うというか、恐怖を感じる以上に自分を追い込めば、乗り越えられるんです。自分は根っからプロレスが好きなんだと思いますね。

**DASH** サッカーのフィールドって、大きいじゃないですか。それを何十分も走り回って試合をするスタミナがすごいなと思っています。プロレスにもスタミナは絶対必要なもので、良いトレーニングの方法があれば教えてほしいです。

**北原** 練習も試合も、実際きついですね。でも、試合ではチームメイトもたくさんいるので、頑張らなきゃという気持ちになります。筋トレなどのフィジカルトレーニングは週1回くらいですが、オフシーズンはよく走り込みをしています。

**市長** 皆さんの話を聞くと、明るく、しなやかにさまざまなことを吸収できるのが女性アスリートの強みだなと思いますね。

**北原** 女子サッカーはまだまだサポーターが少ないですが、その中

## 仙台を拠点として

**市長** 皆さん、あけておめでとうございます。仙台には、ここを拠点に活躍する女子プロスポーツがあります。その選手の方々に、仙台での活動の様子を、女性アスリートならではの視点でお話しいただきたいと思います。まず、皆さんは一日をどのように過ごしていて、普段、どのような活動をしているのでしょうか。

**北原** マイナビベガルタ仙台レディース（以下「マイナビベガルタ」）の選手は、別な仕事もしながらプロサッカー選手として活動しています。私は（ベガルタ仙台に勤務していて、午前中は小学校のサッカー教室や高齢者の健康体操教室の講師を務め、午後からサッカーの練習をしています。マイナビベガルタは、練習する環境が他のチームより恵まれていると思います。女子は練習場所などを確保できないチームも多いので、とてもありがたいことです。

**千葉** 午前中はホームセンターのダイシン幸町店で働いていて、接客やレジを担当しています。練習は午後からです。働きながらプロサッカー選手として活動することは、初めは大変でしたが、すぐに慣れました。それに、店頭に出て

でも応援して下さる方にまた見に来てほしいと思っていただけると、最後まで諦めない姿勢をお見せしたいと思っています。マイナビベガルタは、他のチームと比べてもうるさいくらいに元気で仲が良く、チームワークも良いですね。

**千葉** 私はチームでは中堅どころなのですが、先輩たちがとても面倒見が良く、優しいです。それがチーム力や仲の良さにつながっていると思います。

**北原** みんな個性豊かでけんかをすることもありですが、タイトルを取りたいという気持ちは同じで、向かうところは一つです。それがぶれなければ、これからもっと強くなっていけると思います。

**市長** ひたむきで絶対に諦めないという気持ちが見る人の感動を呼んで、応援したいという気持ちを感じて、大きくさせるのだと思います。リーグ優勝を目指して、これからも頑張ってくださいね。仙女の目指すところを教えてくださいませんか。

**里村** 仙台という地は、新しく何かを始めるに当たってチャンスをいただける場所だと思っています。ベガルタ仙台や楽天イーグルスがスタジアムを満員にしているように、私たちも2万人の会場を満員にできるようなブームを巻き起こしたいです。



北原佳奈さん  
マイナビベガルタ仙台レディース所属選手。DF。(株)ベガルタ仙台に勤務。1988年、静岡県藤枝市生まれ

大きな力になったんです。マイナビベガルタも、福島県で活動していた東京電力女子サッカー部マリゼの受け皿となり発足したチームですから、いろいろな思いがあるでしょう。

**北原** マイナビベガルタは、震災があつてサッカーができなくなつた方が集まつてできた、震災を契機として発足した特別なチームです。そのことを決して忘れてはいけなと思いますし、これからも復興に携わり続けていきたいです。震災でつらい思いをされた方々に、私たちのプレーで少しでも元気を伝えられたらと思います。

**千葉** 復興支援活動では、被災地を訪問して子どもたちにサッカーを教えています。楽しそうにボールを蹴っている姿を見て、逆にこちらが元気をもらっているような気持ちになります。

**市長** 皆さんのさまざまな復興支援活動により、市民の方が励まされています。皆さんも、地域での



千葉梢恵さん  
マイナビベガルタ仙台レディース所属選手。DF。ダイシン幸町店に勤務。1991年、仙台生まれ

支え合いや応援があつて続けられたとのこと。地域とともに活動しているからこそ、それぞれのステージで活躍できるのだと思います。

**市長** 最後に、女子プロスポーツを盛り上げていくために、市民の皆さんに伝えたいことをお話しください。

**北原** 女子サッカーの試合を見に行きたいと思つてもらえるように、子どもたちにはサッカーをやりたいと思つてもらえるように、まずは自分たちが頑張らなければと思いますし、応援してくれる地域のためにいろいろな活動をしていきたいと思つています。

**千葉** サッカーの試合は生で見るとテレビで見るとでは全然違うので、ぜひスタジアムに足を運んでもらいたいです。スタジアムでは、プレー中にも応援してくれる方の声が届いて、すごく励みに

### 夢をかなえられるまち・仙台に

なります。自分たちも、もっと魅力的なプレーをして、結果を出して、見に来てもらえるようなサッカーができるように頑張つていかなければと思います。

**DASH** 誰もが夢をかなえられるような仙台になつてほしいです。妹もプロレスラーだったので、結婚して引退し、子どもが生まれました。妹は、育児は大変だけれど、他にもやりたいことがあると言っています。でも、気持ちはあつてもできる環境がない、と。妹を見てみると、幸せそうであらまじいと思う一方で、夢があるなら諦めないでほしいと思つています。自分もそうありたい、夢を持ち続けたいと思つています。

**市長** 誰しもが、それぞれの人生で花開かせられるような仙台にできるといいですね。そのために、私も頑張らないます。

**里村** 例えば、仕事で嫌なことがあつたときに試合を見て力が出たと言つてもらえたり、子どもたちにプロレスラーを目指してもらえたりするよう、いろいろな方に勇気や元気を与えられる存在でありたいと思つています。10年前は仙台で浸透していなかった女子プロレ



**DASH** 彼女は、女性が憧れる女性を目指しています。そのためには、女性らしさも失わないような気をつけています。

**市長** 昨年は3人が新たに入団して、その中には中学生もいますね(愛海さん。2017年7月、12歳でデビュー)。中学生に入団したいと思わせるって、すごいことですよ。

**里村** デビューは15歳以上と決めていたのですが、12歳の愛海はそれを覆すほど熱い気持ちを持っていて、その気持ちをつぶしてはいけなと思つたんです。同世代の子たちにも、夢に向かつてこんなに頑張っている中学生がいるんだということが伝わるようで、影響力の大きさを感じています。

**千葉** 12歳の子を受け入れるという決断をして、入団できる環境を作り上げられた里村さんたちの気持ちの大きさもすごいです。

**市長** どちらのチームも地域に根ざした活動を行われています。仙女の皆さんには、子どもたちに夢

を持つことの大切さを伝える、仙台市の「自分づくり夢教室」にもご協力いただいています。

**里村** 小学生に、自分が夢を追い、かなえるまでの話や、運動することの楽しさを伝えていきます。最後には全員で円になりスクワットを100回やるんですが、最初は嫌々やっていた子も、100回やりきったとき、顔がぱあっと輝くんですよ。その瞬間をもっと見たいですし、この活動に参加し続けていきたいです。

**市長** 実際に夢を実現させた方のお話が聞けるからこそ、子どもたちの心にも伝わるのだと思います。北原さんには、子どもたちがさまざまな職業のプロの方にお話を聞く「楽学プロジェクト」にご協力いただいています。

**北原** 昨年は、小学5・6年生の女子が30人くらい集まってくれました。たくさんの方がある中で、女子サッカーを選んで来てくれたことがうれしくて。一緒にサッカーをして、みんな積極的にボールに向かつていく姿を見て、私も頑張らなやと思つました。この子どもたちに将来「なでしこジャパン」を目指してもらえよう、夢を与えられるような活動をしていき

### マイナビベガルタ仙台レディース



仙台を拠点に活動する女子サッカーチーム。2012年、東日本大震災の影響により休部した「東京電力女子サッカー一部マリゼ」(本拠地：福島県楡葉町・広野町)の受け皿となり、発足。日本女子サッカーリーグのなでしこリーグ1部でプレー。

いです。

**市長** プロで活躍するスポーツ選手の話を中心に聞けるのも、プロスポーツが身近にある仙台ならではのですね。女子プロスポーツはこれからもっと仙台で発展していくと思つていますので、期待ができません。

**震災を乗り越えて**

**市長** 私たちにとって忘れることができない東日本大震災ですが、仙女の二人は仙台で震災を経験されたのですよ。

**里村** スタッフは全員辞め、選手も減りました。自分が代表を引き継いだ年でもあり、スタッフ3、4人の雑務を全て自分でこなさな

くてはならず、もう限界かなと思つました。でも、周りでは、家族も仕事も家もなくされた方が前向きに頑張つていて、何で自分がここで限界を感じているんだと思つ、もう一度やつていこうと覚悟を決めました。それに付いてきてくれたのが、チサコでした。

**DASH** 解散するしかないという話が出たとき、本当に続けられないのかと食い下がりましたし、自分は仙女以外でプロレスをやる気はありませんでした。被害に遭つた方、つらい思いをされている方がたくさんいらして、そんな中で自分たちができることはプロレスだけだったので、プロレスを見て元気になるつもりもなかった。そこから活動はやはり大変でしたが、乗り越えてこれたのは、自分にはプロレスという夢や希望があつたからです。それに、地域でたくさん応援をいただきました。応援がなかったら、10年以上も続けてこれなかつたと思つています。

**里村** あのときの地域の皆さんの強い団結心や、上を向いて頑張つていこうという姿を見て、自分たちも頑張ろうと思つきました。

**市長** 強い決意で団体存続の危機を乗り越え、それが今につながる

すが、たくさんの方に応援をいただけるようになってきています。団体が継続できているのは応援のおかげですし、団体を大きくしていくことがいただいた応援に対する恩返しだと思つています。もっと女性が持つ力強さや華やかさをアピールしていき、この先の10年後、まだ見えない奇跡を起こしていきたいです。

**市長** 女子プロスポーツの時代を皆さんが切り開いてきてくださったのだと思つています。これからも、なおいつそう輝いたプレーを期待しています！本日はありがとうございます。